

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年02月06日

計画の名称	鴻巣市における循環のみちの実現（防災・安全）（第2期）（重点計画）													
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	鴻巣市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,217	A	2,217	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	下水道による浸水対策が必要な区域は、1/3確率と1/5確率の降雨で計画整備されており、それぞれの内水浸水被害が防止できる割合（雨水管渠整備率）を12.4％（H30当初）から17.9％（H34末）と6.4％（H30当初）から10.8％（H34末）に向上させる。 都市浸水対策のための雨水管渠整備率 整備完了済み面積（ha）／区域面積（286.8ha）	19%	26%	29%
2	下水道による浸水対策が必要な区域は、1/3確率で計画整備されており、内水浸水被害が防止できる割合（雨水貯留施設整備率）を77.8％（H30当初）から100.0％（H34末）に向上させる。 都市浸水対策のための雨水貯留施設整備率 整備済みの貯留施設数（箇所）／雨水事業計画に基づく整備すべき貯留施設数（9箇所）	78%	89%	100%
3	雨水施設の整備方針を定め、雨水施設の対策を行う地区を選定し、施設の規模を定める降雨強度や流出係数を決定する。また、整備を行う優先順位や段階的な整備を行い内水浸水被害が防止できる割合（雨水管理方針及び雨水管理総合計画策定進捗率）を0.0％（H30当初）から100.0％（H32末）に向上させる。 雨水管理方針及び雨水管理総合計画策定進捗率 策定までの検討済み項目（項目）／策定までに検討すべき項目（16項目）	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
区域面積＝西部第3排水区、元荒川上流第1・2排水区、鎌塚落排水区の面積												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鴻巣市	直接	鴻巣市	管渠（ 雨水）	新設	西部第 3 排水区雨水整備 事業（浸水対策）	管渠L = 約590m	鴻巣市	■	■	■			558	-	-
	A07-002	下水道	一般	鴻巣市	直接	鴻巣市	管渠（ 雨水）	新設	元荒川上流第 1 排水区雨 水整備事業（浸水対策）	調整池築造V = 12,600m3、管 渠L = 約870m	鴻巣市		■	■	■	■	1,021	-	-
	A07-003	下水道	一般	鴻巣市	直接	鴻巣市	管渠（ 雨水）	新設	元荒川上流第 2 排水区雨 水整備事業（浸水対策）	管渠L = 約1,030m	鴻巣市	■	■	■	■	■	501	-	-
	A07-004	下水道	一般	鴻巣市	直接	鴻巣市	管渠（ 雨水）	新設	鎌塚落排水区雨水整備事 業（浸水対策）	管渠L = 約140m	鴻巣市	■	■				126	-	-
	A07-005	下水道	一般	鴻巣市	直接	鴻巣市	-	-	雨水管理総合計画策定事 業（浸水対策）	雨水管理方針・雨水管理総合 計画策定	鴻巣市		■	■			11	-	策定中
											小計						2,217		
										合計						2,217			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鴻巣市社会資本総合整備計画事業評価審議会条例に基づき事後評価を行う。	令和7年2月
	公表の方法
	鴻巣市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水管渠の整備率を 18.8%（H30）から29.1%（R4）に向上させることで、浸水被害のリスクを低減することができた。 6号池を整備し、都市浸水対策のための雨水貯留施設の整備率を 77.8%から100%に向上させることで、浸水被害のリスクを低減することができた。 雨水管理総合計画の策定までに検討すべき項目（16項目）を全て達成し、令和2年度に策定したことで、浸水対策を計画的に進め、浸水被害の軽減を図ることができます。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

雨水による浸水対策については、重点配分項目に該当するため、「鴻巣市における循環のみちの実現（防災・安全）（第3期）（重点計画）」にて引き続き、都市浸水対策のための整備を積極的に進め、浸水被害のリスクを低減していく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	都市浸水対策のための雨水管渠の整備率		
	最 終 目標値	29%	
	最 終 実績値	29%	
2	都市浸水対策のための雨水貯留施設の整備率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	雨水管理方針及び雨水管理総合計画策定進捗率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	